



第56号

昭和38年1月1日 毎月1回1日発行  
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

### ☆おもな行事☆

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1月           | 2月                 |
| 1日 元日        | 3日 節分              |
| 9日 町議会臨時会    | 4日 立春              |
| 14日 農業委員会総会  | 1~7日 成人病予防週間       |
| 15日 成人式      | 8日 初うま             |
| 18日 消防出初式    | 19日 万国郵便連合加盟記念日    |
| 29日 町連合婦人研修会 | 28日~3月13日 春の火災予防運動 |

## 昇竜の年

町長 坂本 常 藏

新年おめでとうございませう。  
新春を迎えるに当り、心から町民のみなさんのご多幸をお祈りいたします。



本年は、たつ年、いわゆる一度水を荷、雲を得は天に昇るという誠にめでたい、昇竜の年でございします。

国内的には、オリンピックが開催され、国威を一層輝やかす年です。

県内的には見ますと、熊行開港と筑波山麓学園都市の建設の二大柱をかかげ、県の興隆をかける、言いかえれば、茨城の後進性脱却の年であると考えます。

本町においても、いろいろの意味で多事多難ではありますが、心を引きしめて、町の前進を図り、興隆の年にしたいと念願しております。

ご承知のように、三十九年は、県立玉造工業高等学校の完成の年であり、統合中学校について見ますと、本年こそ第一軍目として、

その歩みを更に進めて行かねばなりません。  
更に、農業問題に目を転じますならば、"曲り角の農業"を、"前向き"の農業とすべく、農業構造改善事業を始め、近代農業への意欲を以て諸施策を推進しなければ

### 議長に笹目義男氏

### 町議会の機構きまる

選挙後、初の町議会、第一回臨時会は、1月9日、招集され、議長、副議長の選挙、常任委員の指名などを行ないました。

決定したことは、次のとおりです。

議長 笹目 義男  
副議長 小野口 清  
常任委員会



日本書作 岡田人

石毛如泉先生筆

ならないと考えます。

その他、住民福祉の増進、健康管理の指導、道路の整備等、町発展のために進めたいことは、数多くありますが、町議会の方々に始め、皆さんの意見を十分考慮いたし、真の町づくりの基盤を完成する年としたいと存じます。

ことしの消防出初式は、1月18日、午前10時から、玉造小学校校庭で行なわれました。

## 消防力は万全

### 恒例の出初式

とおりでです。

◇無火災部落

玉川地区藤井部落(4年)

玉造地区泉部落(30年)

◇優良団員

(副分団長 菅谷正義(部長)

羽生道雄(副員) 風間勝 八木

達、郡司好隆、星野光弘

◇消防協力者

上山・菅谷正三

芹沢・小沼昭男

◇県広報コンクール

### で入選

新制服に身をかため規律ある態度の団員、手入の完備された消防ポンプ等、その充実ぶりは、町民の信頼にこたえるに十分なものであります。

『広報たまづくり』は、1月23日行なわれた、県広報研究会主催の茨城県広報コンクール広報紙の部で入選しました。

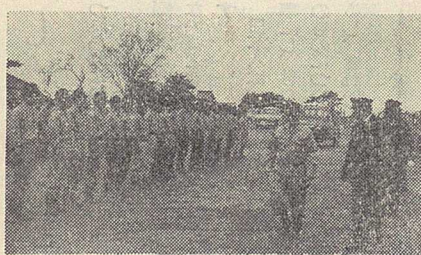
このコンクールは、市町村における広報活動の発展を期するために、定期的に発行する広報紙のなかから選定するものです。

参加作品20点の中から、本紙は町村の部で第4位に推薦されました。

なお、入選市町村は、つぎのとおりです。

○特選(都市の部) 勝田市(町村の部) 牛久町

○推進(都市の部) 日立市、那珂湊市(町村の部) 出島村、八郷町、松川村、玉造町、常北町



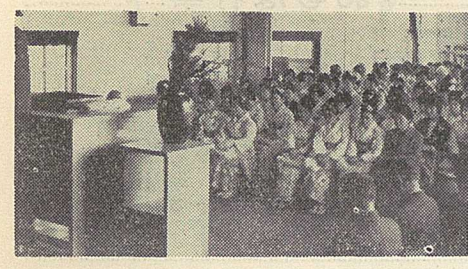
# 自覚と決意をこめ 晴れの成人式

第16回玉造町成人式は、1月15日、午前10時から青年研修所で挙行された。

式は、成人式に達した方は、男一四名、女一三名、計一七名ですが式には、一七四名が参加した。

式は、郷土教育委員長の開式のことから始まり、国歌斉唱のち成人証書と、記念品のアルバムが代表の長谷雄一君に授けられた。ついで、町長から別掲のような式辞があり、来賓の祝辞をいいただきました。

その後、さきに町選挙管理委員会会が募集した、「新有権者の感想文」に応募した次の方々に對する表彰が行なわれました。



成人となれるみなさん、おめでたいですね。みなさんは晴れて一人前のおとなとしてあつかわれることになるわけで、まことに喜ばしいことです。

しかし、おとなになるといふことは、あらゆる面での権利と義務の關係が生れ、責任は、非常に重くなるわけですね。

例へば、国の政治に自分の意志をあらわすことのできる参政権、そして代議院を動かす選挙権など、いろいろの権利の取得は、各人の権利が大幅に拡張されたしるしでもあるわけですね。

しかし、責任もまた重くなり、例へば少年法の保護規定がなくなり、自分の行為は、未成年の時よりきびしい責任をとらなければならなくなるわけですね。

一人前のおとなになるといふことは、相當の覚悟が必要であるといふことです。

この日は、みなさんが社会人と

じ人づつと町づくりのため努力する「この謝辞を述べ、賞状ある式を終りました。

白鳥のよう、きれいに着飾った娘さんななめ、さぞ親御さんが大変だったろうという推測と、どうせ一度はつくつてやらねばならないのだからという意見と、周囲の議論もまたあつた。

く服装はできるだけ清潔に、との願ひも、来年への課題として残されたように。

# 国土を美しく

つ見られないものです。

日本は、公園とかの公共施設、観光地などは、くらべものにならないうるきれいなといわれています。

日本人は、個人のものとは特別大事にし、きれいにしますが、公共のものについては、逆に粗末にする、きれいにしようとする考えが、あつてきません。

これは、日本の国土をみんが美しくしようという運動です。海外へ行くとき人々は、だれも申し合はないうように、諸外国のきれいなことに驚き、日本のきれいなことをなげいています。外国では、たぐさんの人の集まる公園や駅なども、紙くすむと

# 輝く出発を祝う

第二に、若人らしい勇気を持つていきたるべきものです。

民主主義の社会では、個人の自主性を尊重しますが、勇気のうらづけなしには、この自由性は育たないのです。

公明選挙にして、新生活運動の推進に、各人が心の底に何ものにも負けない勇気を貯え、その上に立つて自主性を發揮してこそ

味な努力を忘れてはなりません。着実に、一歩一歩を積み重ねてこそ、人間の値うちがきまるものといえるでしょう。

第三には、日々の生活において感謝するといふことを忘れてはなりません。現在までに自分を育ててくれた人々に、この機会に深く感謝の意をあらわすことも、人間として大事なことです。

みなさんの生命も、第の人生

# 農村振興を双肩に

青年建設班は、農村青年を長期間合宿させ、自主的な集団活動を通じて、進んで村づくりに協力し、農業に関する知識や技術を習得すると共に、共同生活によって共同精神を養い、将来農村を背負って立つにふさわしい人材を養成しようといふねらいによって発足した事業です。

そして、この事業は、数年前に農林省から新しい施策として打ち出されて以来、全国各地で輝かしい成果をあげています。

玉造町においては、町役場をはじめ、関係指導機関が慎重に検討の結果、この事業が町づくりの大きな布石となることを認め、町で多額の予算を計上して、2月1日から実施することになりました。

実施にふまけるに当って、最も心配したことは、果たして、30名というような多数の青年が、1か月の長期間合宿を行なうこの研修に参加するかどうか、ということでした。しかし、幸いにして、父兄はじめ家族の理解を得て、予定どおり30名の参加者がありました。

この30名の参加者の中、その3分の1は女子青年ですが、このよ

# 有利な兎の飼い方②

玉造地区農業改良普及所 小島技師

8、尿の繁殖で注意することは近親繁殖をさけることです。近親繁殖をすることは、生まれる子兎が、生育が悪くなります。できるだけ、他の優良な種兎と交尾させて、一代雑種をつくって飼育するのが、良いのです。

交尾の時期は、一年のうちで10月、おす兎で8か月頃頃から始めると、よい子兎が得られます。

交尾の時期は、一年のうちで5月、10月と、酷暑、酷寒の期を避けた時で、4回位はできるでしょう。

交尾の際には、なるべく、めす兎を、おす兎の箱に入れる様にしてください。愛情は、周期的におきるが、排卵は、定期的にはありません。分娩後、1日、3日位に交尾を行なうと、受胎率がよいのです。

9、分娩後の生育状況は、次のとおりです。

5年10年後の目標を定め、それに従って計画的に着実な第一歩を踏み出していただきます。

そして、このオリンピックの年を農業においても、輝かしい飛躍の年にしたいと思ひます。

そのためには、農業改良普及所もまた、みなさんの良き相談相手良き協力者になり、全職員が一体となつて、全力を挙げて仕事をすすめたいと考えております。

みなさんの、御健闘と、御協力を御願ひして、新年のあいさつといたします。

# 飛躍の年に

玉造地区農業改良普及所長 萩原耕

農家のみなさん、あけましておめでとございます。

昨年の農業生産が、悪天候や労働事情の悪化にもかかわらず、みなさんの御努力によって、稲作をはじめ、そば、果樹、畜産など、総合的に順調に伸びたことは御慶びにたえません。

しかし、農村をとりまく社会情勢の変化は激しく、ことしもまた一段ときびしさを加えてくるであらうでしょう。

真に明るく豊かな生活を保障でき得るような、農業経営を確立するためには、土地改良や、農地の集団化、生産方式、流通機構の改革など、いわゆる農業構造を根本的に改善することが絶対に必要であり、そのためには、農業構造改善事業を、断然やるのみ、町ぐるみ

# 青年建設班実施要領

- ① 実施主体 玉造町
- ② 研修人員 30名
- ③ 場所 玉造町青年研修所
- ④ 期日 2月1日から3月

おりです。

4日目ー子兎に白毛を生じ始める。

7日目ー全部毛が生えそろう。

10日目ー目を開き、時に巢外に出る。

14日目ー目を完全に開く。

20日目ー母兎の青草をなめ始める。

25日目ー母兎のえさを横からたべるようになる。

30日ー35日目ー離乳。

45日目ー換毛を始める。

10子兎の危険な年令は、離乳後50日ー60日目頃です。

病気の主なものは

A コクシジウム病

離乳前後と、梅雨期にかけて多く発病します。鶏のニクシジウムは、更に伝染します。

急性は、腸カタル、鼓膨症をおこし、下痢をしないうちに死にます。

慢性は、食欲不振、軟便、下痢をおこして、やせて死にます。

予防には、箱、器具を消毒することです。薬は、パンソール、又は、ネオの百々200倍液。

B、スナップリ症(伝染性鼻炎) 病状は、慢性で伝染性です。鼻汁を出して、くしゃみをし、遂に肺炎となつて死ぬ恐ろしい病気です。

C、スロヘイター症(梅毒) 種兎をよく注意して、病気のないうつかりにすることです。

玉造町財政事情書

地方自治法第244条の規定による「財政事情書」の作成及び公表に関する条例（町条例23号）の定めるところにより、昭和38.7.1日から昭和38年12月31日までの期間における町の財政事情書をつぎのとおり公表します。

昭和39年2月1日

玉造町長 坂 本 常 蔵

1、ま え が き

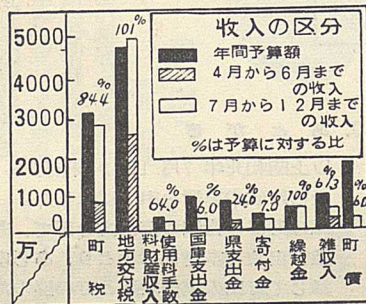
わたし達の町の財政はどうなっているのでしょうか。これは町では皆さんの家の「家計簿」ともいえるべき 財政の実情を知っていただくために、年に2回「財政事情」を公表しております。ここに表したのは、昭和38年7月1日から 昭和38年12月31日まで6ヶ月間の各会計のあらましであります。町財政が円滑に運営されるため一層のご理解をいただければ幸いです。

2、収入支出の状況

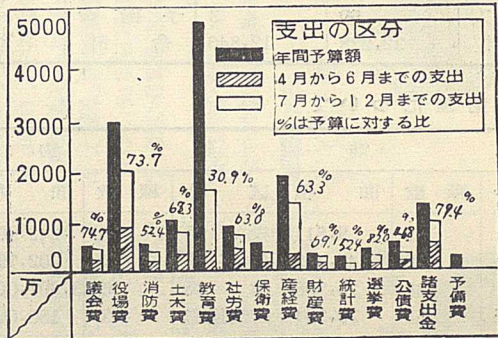
自38.7.1 至38.12.31  
単位 千円

| 会 計 別 | 一 般 会 計 | 国 保 会 計 | 工業高校事業会計 | 合 計    |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 収 入   | 58,635  | 12,840  | 2,700    | 74,174 |
| 支 出   | 56,621  | 13,999  | 6,915    | 77,535 |

3、一般会計収入の状況



4、一般会計支出の状況



(自38.7.1 至38.12.31) 単位 千円

| 款 別         | 年間予算額   | 収 入 額  |
|-------------|---------|--------|
| 町 税         | 34,525  | 21,643 |
| 地 方 交 付 税   | 53,691  | 28,522 |
| 財 産 取 入     | 26      | -      |
| 使 用 料 手 数 料 | 2,232   | 1,134  |
| 国 庫 支 出 金   | 8,061   | 294    |
| 県 支 出 金     | 7,193   | 1,501  |
| 寄 付 金       | 3,000   | 150    |
| 繰 越 金       | 5,212   | -      |
| 雑 収 入       | 8,201   | 4,391  |
| 町 債         | 17,000  | 1,000  |
| 合 計         | 139,141 | 58,635 |

| 款 別       | 年間予算額   | 支 出 額  |
|-----------|---------|--------|
| 議 会 費     | 3,571   | 1,700  |
| 役 場 費     | 27,556  | 13,602 |
| 消 防 費     | 3,904   | 1,811  |
| 土 木 費     | 9,358   | 3,934  |
| 教 育 費     | 48,127  | 12,417 |
| 社 会 保 障 費 | 8,151   | 4,415  |
| 保 健 費     | 3,107   | 1,506  |
| 産 産 費     | 17,553  | 9,212  |
| 財 産 費     | 459     | 137    |
| 統 計 費     | 286     | 143    |
| 選 挙 費     | 1,500   | 1,032  |
| 公 債 費     | 2,706   | 1,058  |
| 支 出 金     | 12,365  | 5,594  |
| 予 備 費     | 500     | -      |
| 合 計       | 139,141 | 56,621 |

5、町税並びに保険税の負担状況

| ○直接税 (世帯2,829 人口14,572) | 税 目      | 収入額    | 一世帯当り負担額 | 一人当り負担額 |
|-------------------------|----------|--------|----------|---------|
| 1、町 民 税                 | 6,198千円  | 2,191円 | 425円     |         |
| 2、固定資産税                 | 10,877千円 | 3,845円 | 746円     |         |
| 3、軽自動車税                 | 212千円    | 75円    | 15円      |         |

| ○間接税                    | 1、電気ガス税   | 755千円   | 267円   | 52円  |
|-------------------------|-----------|---------|--------|------|
| 2、たばこ消費税                | 3,601千円   | 1,272円  | 247円   |      |
| ○目的税 (世帯2,467 人口12,700) | 1、国民健康保険税 | 7,014千円 | 2,843円 | 552円 |

新議員の横顔

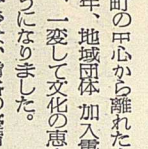
町議会議員一般選挙は、昨年12月24日行われ、定員26名に対して44名の立候補がありました。次の万々が当選されました。投票率94%という結果に示されたように、みなさんが、新しい議員に寄せる期待は、まさに大きいものがあると思えます。喜ぶの新しい議員を紹介し、意見、抱負などを寄稿いただいたので、あわせて掲載します。

※氏名の下( )は年令、次の行は、地区・部落掲載は五十音順



荒木 盛 (54)

今回の町議会選挙については、統合中の候補者出馬を見ましたが皆様の絶大な御支援を賜わり、感激に堪えません。今後共、御支援によりまして、地方自治の健全な発展のため、尽力致す覚悟です。



井川 隆次 (69)

町の中心から離れた上郡部は、昨年、地域団体加入電話が引かれ、一変して文化の恵みに浴するようになりまし。

現在の町政は、中学校問題、高浜入干拓、農業構造改善、その他多くの難事をひかえております。浅学非才、微力ではありますがこれらの難関に対し、身をもって解決する考えでございます。



飯島 豊雄 (55)

玉川、井上



小野口 清 (39)

今井 由也 (32)

立花、八木

町政は、私共の日常生活に密接なつながりを持っています。この度、町議会議員として、町政の一端を担うことになりました。皆さんの声を正しく反映し、地域の世話役として、誠意を以て町の向上進歩に努めてまいります。



大和田 徳男 (39)

玉造、賀賀

今回は、激戦の地区に立候補し当選の栄を辱ましたことを、厚く御礼申し上げます。直面前の問題は、統合中学校の建設です。我々のごも達の将来を考え、関係各位の協力、御理解を得て、一日も早い完成を願っています。



貝塚 國男 (39)

立花、浜

ただ今、玉造町は、統合中学校の建設その他重要事業が山積しております。われわれ議員は、一般町民にかわって、その意思を議会に表明し、如何にして、町民の考えを自らの議会活動の上に反映させるかを常に念頭に置かなければならないと思っております。この考えのもとに、重要な諸事業の実現を通じて、明るい、豊かな町づくりに、執行部と相携えて努力をいたしたい所存です。



橋川 義雄 (63)

玉造、泉

旧冬町議選区に再立候補し、当選の栄を得ることができました。今後は、長年にわたる試験を生き、微力ながらも、町政に貢献し、皆様の御期待に添う所存でございます。



木村 茂 (52)

立花、羽生

前期中、統合中学校の問題等を含め、町民の間に大きな溝のできたことは、否めない事実であります。私達は、町民の代表として、いかなる不平不満も、これを率直に受けて、議会という話し合いの場を通じて、これが解決に努めなければならないと思っております。



熊谷 完隆 (44)

手賀、宿

鹿行地区は、今や一大革命時代に突入したと言っても過言ではないと思えます。その渦中にある町としても、既に諸先輩の手によって運動が始められていますが、我々は、なお一層精力的な活動を通じて、あらゆる発展事業には、心から協力して行きたいと思っております。追従的な態度は捨て、あくまで建設的な相互の意思の交換のもとに、検討し、かつ尊重し、それを実行に移してこそ、玉造町発展への道があると思えます。



竿台 光雄 (49)

手賀、宿

町の発展は、執行機関と、議会の立場を明らかにすることはもちろんですが、協力し合うということが、よのほろひであると思っております。企画されます諸問題について、十分な話し合い、協議を重ねながら、円滑な議会活動に協力していきます。

さきの町議選挙に際しては、絶大なるご支援をいただき、ありがとうございます。  
今後は、町長を中心とした、清い町づくりのため努力する覚悟です。よろしくご協力願います。

島田 寛(56)



この度、町議会議員に就任の栄を賜いました。  
当町も、合併以来9年、ますます発展途上にありますが、農業施策、教育充実、その他町政の各方面にわたって、重要かつ急を要するものが数多く存在しております。  
これらは、議会の正しい運営により処理しなければなりません。そして、議会活動を強力におしすすめるために、和をたつとび、かたよらない町政を堅持し、議会の純正をすることをモットーとして、最善を尽くしたいと考えています。

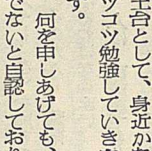
笹目 義男(56)



現原、谷島

手賀、舟津  
議決機関としての使命を、完全に果たすべく、努力を怠りません。

高塚 吉雄(65)



過去4年間の経験を生かし、更に地域のみなさんの意見を尊重して、明るい町づくりのため、一層の努力を続けてまいりたいと考えています。

鈴木 新一(61)



立花、沖洲

一九六四年の新春を迎えるにあたり、旧年中の御配慮を深謝いたすと共に、決意も新しく、明朗な町政の確立と、農業構造改善による豊かな農村の建設等、全力をつくして奉公の誠を致そうと念願するものです。

中野 勇(54)



町長はじめ、議員の人達が、いつも部落の中にはいていて、各個人の意見をきき、討議し、その判断の上で迅速に町政に反映させていくこと、これは、民主政治の原則ですが、この事をいつも念頭に置いて、今後の問題に対処して行きたいと考えております。

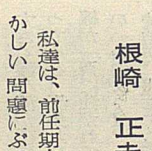
滝崎 昇(37)



手賀、横賀

私達は、前任期中、たいへんむずかしい問題にぶつかってまいりました。そうしたいろいろな問題を振り返って見て、つくづく考えさせられることは、事に当たって余りにも話し合いが足りなかったということです。

根崎 正夫(53)



今回の町議会一般選挙は、当町統合以前の大選挙になりましたが、正しい町民各位のご協力によりまして、再度当選させていただきましたことを、心から御礼申し上げます。

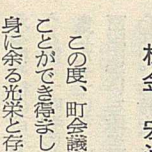
額賀 勝利(29)



玉造、西蓮寺

この度、町会議員の末席を汚すことができたことは、誠に身に余る光栄と存しております。  
今後、私は、この感激を堅く胸に刻んで、与えられた職責に邁進し、もって御期待にこたえたいと決心しております。

松金 宏治(59)



当面の私の急務は町議会の正常化、行政執行の迅速化、町政の近代化の三点を、実現することです。

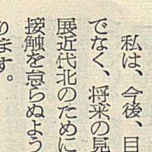
野原 小市郎(58)



手賀、新田

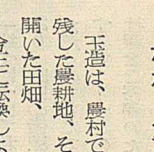
種やかで、豊かな町づくりを急願しております。

山口 庄千(49)



今日の町議会は、単なる議決機関だけでなく、住民福祉の上に意志を代表する重大な使命を課せられていきます。

八木 豊(41)



現原、中山

6、公債の現在高

| 目   | 的       | 未償還額      | 目      | 的        | 未償還額       |
|-----|---------|-----------|--------|----------|------------|
| 教育債 | 立花中建設事業 | 133,867   | 災害復旧債  | 荒宿漁港復旧事業 | 109,134    |
| 〃   | 現原中     | 114,396   | 土木事業債  | 手賀臨時救農土木 | 105,802    |
| 〃   | 〃       | 118,515   | 〃      | 立花       | 105,802    |
| 〃   | 玉造小     | 1,677,180 | 役場庁舎建設 | 役場庁舎建設事業 | 4,077,734  |
| 〃   | 玉川小     | 1,201,394 | 土木事業   | 新町建設土木事業 | 2,341,748  |
| 〃   | 手賀小     | 989,383   | 公営住宅建設 | 公営住宅建設事業 | 956,354    |
| 〃   | 浜小      | 2,205,699 |        |          |            |
| 〃   | 消防施設事業  | 69,391    |        |          |            |
| 消防債 |         |           | 合計     |          | 14,206,399 |

7、国民健康保険中別会計収入支出の状況

| 収入    |        |        | 支出    |        |        |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 款別    | 年間予算額  | 収入額    | 款別    | 年間予算額  | 支出額    |
| 保険税   | 13,472 | 7,014  | 役場費   | 2,733  | 1,196  |
| 使用手数料 | 6      | 1      | 保険給付費 | 26,510 | 11,696 |
| 国庫支出金 | 14,574 | 5,822  | 保険施設費 | 1,531  | 443    |
| 繰越金   | 4,126  | 0      | 諸支出金  | 1,254  | 664    |
| 雑収入   | 50     | 3      | 予備費   | 200    | 0      |
| 合計    | 32,228 | 12,840 | 合計    | 32,228 | 13,999 |

8、県立工業高校特別会計収入支出の状況

| 単位 千円  |        | 単位 千円 |       |       |       |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 出      |        | 入     |       | 支 出   |       |
| 間予算額   | 支 出 額  | 款 別   | 収入額   | 款 別   | 支出別   |
| 2,733  | 1,196  | 繰 入 金 | 2,600 | 財 産 費 | 1,573 |
| 26,510 | 11,696 | 雑 収 入 | 100   | 諸支出金  | 5,342 |
| 1,531  | 443    | 合 計   | 2,700 | 合 計   | 6,519 |

9、町有財産について

| 土地   |     |         | 建物   |     |          |
|------|-----|---------|------|-----|----------|
| 区分   | 筆数  | 面積      | 区分   | 棟数  | 面積       |
| 田    | 17  | 9,811   | 役場   | 1   | 242.30坪  |
| 畑    | 48  | 47,415  | 公民館  | 5   | 202.79   |
| 山林   | 38  | 25,306  | 学校   | 69  | 3,807.00 |
| 原野   | 62  | 29,324  | 町営住宅 | 20  | 180.00   |
| 役場敷地 | 4   | 5,528   | その他  | 14  | 414.33   |
| 公共敷地 | 149 | 64,913  |      |     |          |
| 墓地   | 22  | 14,222  |      |     |          |
| その他  | 15  | 2,918   |      |     |          |
| 計    | 535 | 199,717 |      | 107 | 4,846.42 |

備考 土地台帳地目による

| 器 械 及 器 具 |             |          | 基 本 財 産 及 積 立 金 |         |         |                      |
|-----------|-------------|----------|-----------------|---------|---------|----------------------|
| 番 号       | 品 名         | 数 量      | 種 別             | 金 額 額 面 | 保 管 状 況 |                      |
| 1         | 貨物自動車       | 大型<br>小型 | 2<br>3          | 町基本財産   | 291,421 | 常陽銀行<br>玉島支店<br>定期預金 |
| 2         | 乗 用 車       |          | 1               | 国保振興資   |         | 町 役 場                |
| 3         | 消防自動車       |          | 1               | 金預託金証   | 266,839 | 金庫保管                 |
| 4         | オートバイ       |          | 2               | 券       |         |                      |
| 5         | 16ミリ映写機     |          | 2               | 電 話 公   | 590,000 | 〃                    |
| 6         | リコピー復写機     |          | 1               | 債農業信用   |         |                      |
| 7         | 耐火書庫        |          | 1               | 基金協会出   | 250,000 | 〃                    |
| 8         | タイムレコーダー    |          | 1               | 資金証券    |         |                      |
| 9         | 可搬式動力ポンプ    |          | 27              | 自治金融寄   | 300,000 | 〃                    |
| 10        | トラック及レール    | 一式       |                 | 託証券     |         |                      |
| 11        | 電気冷蔵庫       |          | 1               |         |         |                      |
| 12        | タイプライター     |          | 2               |         |         |                      |
| 13        | ベルトコンベヤー    |          | 1               |         |         |                      |
| 14        | ポットミキサー     |          | 1               |         |         |                      |
| 15        | テフロコールドマスター |          | 1               |         |         |                      |

10、あとがき

以上昭和38年 7月 1日から昭和38.12.31日までの財政の事情を申し上げました。  
私は町民の皆様のご協力を得て、あくまでも地方自治の本旨にのっとり、あらゆる方途を講じて町民の福祉増進と町発展のため積極的に町政の運営を図ってゆく決意であります。  
皆様の深い御理解と尚一層の御協力をお願いする次第です。



# たつどしの記

宮本 佐市

孫千らの日々は伸びゆく  
そのさまを  
見てを去りゆく今日のうれしき  
これは、八十七歳の父、東助  
（玉造城跡在住）が、晩年の暮れ  
病床でお医者様より死の宣告を受  
けた時の辞世の歌である。正式の  
学のない貧乏百姓が、動脈硬化で  
ふるふる、節くれだつた指に筆を  
とり、こんな歌をつけたという  
のだから、我が家のドライな現代  
っ子たちも、感激しないわけには  
いかなかった。

幸い、老父は、お医者様のおか  
げで、起死回生し、こんどは、米  
の肴まで、生きて見ようというよ  
うな氣もつくった。死に面して  
「今日のうれしき」がほんとうな  
ら、八十路を越えた老父には、生  
に對する強い見苦しい執念はない  
のかも知れない。

仏典によると、死のことを往生  
と言う。つまり、浄土に生まれか  
わると言うわけである。

老父は、如来の教典を信じ、一  
日も早くしわの多い俗界を離れた  
いのちかも知れない。

父の不幸は、最愛の妻と、二人  
の子供に先立たれたことだが、こ

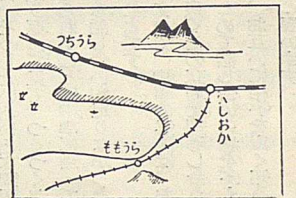
## わたしのふるさと

長津 弘一

わたしのふるさと、玉造町  
桃浦と呼び、茨城百景の一つ  
上野駅から常磐線に乗って40分  
程走ると、利根川の鉄橋を渡って  
茨城町に入る。更に40分程北へ進  
むと人口4万の石岡市に到着する  
水郷線はここを起点として、霞  
ヶ浦の東岸沿いに30キロ先の銚田  
町まで延びている。大正の末期に  
開通したこの鉄道は、長年貨客兼

用車を旧式な機関車で牽引してい  
たが、今ではモダンな流線型の軽  
快なガソリンカーがさそうと登  
場し、沿線の住民に交通の利便を  
与えるとともに、水郷方面への観  
光客の輸送に大きな役割を果たし  
ている。

時速60キロの快適なスピードで  
20分程つと走ると、今まで続いて  
いた森林は突然とぎれて右手前に



大きく霞ヶ浦が境界一ぱいに広が  
っている。都会らしい乗客の視  
線が一斉に注がれて「すてき」と  
か「絵のようだね」とかの感嘆する  
会話が、期せずしておこるのも  
この瞬間からである。かれること  
のない湖面が、やまやぶようとし  
て連なり、その中に、大小の魚舟  
があるいは白帆をほらみ、霞んだ  
対岸をバックにして適度なコント  
ラストを出し、調和のとれた風景  
は、まさに一幅の名画を見るよう  
である。

この湖水に草も近い町で、湖畔  
随一の名産の地として多くの人達  
から認められ、茨城百景の一つに  
指定された桃浦、正しく言えば、  
玉造町が私の生まれた故郷であ  
る。

の双山が見事な相似形を湖面に投  
写する風景は、茨城百景に選ばれ  
た誇りを自認させるに十分な価値  
をもっている。公園の下り口は、  
そのまき、湖畔の水泳場に続く一  
本道となる。

お寺の石段に母を偲ぶ  
部落の中央の高山に、小学校と  
お寺が同居したように仲よくなら  
んで建っている。樹令三百年を数  
える松や杉の古木が四周にうつそ  
うと繁つて両者の森を一段と引  
き立たせている。山頂の本堂まで  
百段に近い石段を登らなければな  
らない。時中、私の母親は、七  
十歳の高令で曲った腰を延しなが  
らこの石段を毎回数回上り下り  
して出征した私の武運長久を祈願  
したそうである。最期した私は墓  
参のたび、子を愛した優しい母の  
心使いに感泣して、この石段の高  
さをうらんだことが再三あった。

質実剛健が校風の母校  
私の学んだ母校の建物は、校内  
の施設とともに極めて質素である  
その中に伝統の質実剛健の校風は  
今もなお通達として続いている。  
傑出した知名の士は出ていないが  
マスコミの巨匠になる不肖者も  
も出ていない。平凡な社会人とな  
る卒業生を毎年送り出すことで満  
足している雪の城が、私の愛す  
る母校である。

役場から毎月、広報が  
長年郷土を離れている者は、い  
つかは郷土から見放され、その存  
在が忘れられ勝ちのものであるが  
私のふるさとに限り、この常識を  
（保から）

東京都台東区・東京電力金杉安  
社では、16ページのりつはな社報  
かなすき、を発行しています。  
羽生出身の長津さんは、そこに  
勤務しておられますが、これに  
「わたしのふるさと」と題し「パ  
ー」にわたり掲載し、10万に近  
い社員とその家族の方に、玉造町  
のよさを紹介されました。

「郷土について私のような見方も  
あり、町民の皆様に再認識してい  
ただけのもむだではないかと思いま  
すので……」との便りを添えて、  
社報を寄附いただいたので、そ  
の内容を転載いたしました。

# 詩吟の心

柄貝 橋本 孝

最近、全国的に民謡や詩吟が盛  
んになってきたことは、皆さん  
ご存じのとおりです。  
終戦後10年になつては、いま  
でも敗戦国でないことを、多くの  
国民が考え、国民の心のゆとりが  
できて、生活の間に先祖が伝えて  
くれた歌や詩などの民族調を唱え  
堂々と祖国の平和再建に邁進して  
きた姿に思われます。

とくに、茨城県は、全国第一位  
の詩吟の盛んなところで、数多く  
の愛好者があり、中央に出場して  
も、その実績は、他県に劣らぬも  
のがあります。



ここで、詩吟の起因を少し申し  
あげてみますと、平安朝時代は訓  
読であり、元禄時代にも漢詩文は  
盛んになったが吟ずることはなく  
のがあります。

私達が、玉造詩吟吟クラブを  
設立したのは、昭和35年9月で、  
現在別名を越える会員が、熱心に  
習っています。その大きな目的は  
祖先が残した詩吟の吟詠を、後世  
に伝えることです。今後、詩吟の  
愛好者が一人でも多くなり、特に  
若い人にあつてを継いでもらいた  
いと念願しています。そして若い者  
の道徳向上や、不良防止等の一  
助になれば、更に幸いかなと思いま  
す。

文化年代の末期頃、頼山陽 広  
瀬淡窓先生等が、吟詠研究から詩  
を吟じたのが、その始まりであると  
伝えられています。そして、明治  
維新の頃が最も盛んになり、戦時  
中もそれに次いで盛んになりました。  
私が、この道にはいつたのは、  
昭和15年に、陸軍病院で習ったの  
がまじりです。右胸部貫通銃創  
を受け、右肺の肺活力を増すため  
習った右よとの医師のすすめで  
受講することになりました。詩吟  
が、健康によいことは、内臓の運  
動等からみても、申すまでもあり  
ません。大きい声を出せることは  
健康であることの現われです。入  
院中は、故人、木村田風先生に一  
年間師事し、帰郷後、茨城詩吟育  
ての親といわれる故人、本間清郷  
先生に三年間習いました。

私達、玉造詩吟吟クラブを  
設立したのは、昭和35年9月で、  
現在別名を越える会員が、熱心に  
習っています。その大きな目的は  
祖先が残した詩吟の吟詠を、後世  
に伝えることです。今後、詩吟の  
愛好者が一人でも多くなり、特に  
若い人にあつてを継いでもらいた  
いと念願しています。そして若い者  
の道徳向上や、不良防止等の一  
助になれば、更に幸いかなと思いま  
す。

詩を吟ずるときは心構えを、少  
しく述べてみますと、第一は姿勢  
です。正しい姿勢・正しい心・そ  
から正しい声が生まれるものです  
そして、詩吟に風格が出てきま  
す。

詩吟の三要素とは、詩文作者  
吟者、聴取者が三要素となり、  
感じたときのことを申します。こ  
れが、詩吟の良き、味であります  
ある先生は「声は心のあらわれ」  
とか申しているとおあり、心の乱れ  
た時は、美しい声は出ないもので  
す。詩吟は、一にも声、二にも声  
三にも声であり、その声は、肉体  
の発声器官によつて機械的に発せ  
られるばかりでなく、その時の気  
分・精神・生活などからの表現で  
あり、いわば、心の現れといえる  
わけです。次に、詩文の内容をよ  
く知ること、作者の気分を十分に  
味わつて吟ずることです。そして  
まず自分の心に聞かせることで、  
他人に聞かせること等は第二であ  
るといわれています。

恩師木村田風先生と並んでの名  
師、山田積善先生は、詩吟とは、  
祈りであるとして強調しています。詩  
や和歌等には悪い文章はなく、良  
い文章をくりかえし、くりかえして  
読み、または吟ずることは、これ  
祈りであるといわれるわけです。  
学ばずして既に通ずる聖賢の道  
修めずして己に備う節義の心  
未だ見えずして万里名勝に遊び  
未だ聞かずして古今の史実を  
識る

## 選挙に思う

手賀 磯山 つね子

去る12月24日に行なわれた、玉  
造町町議会議員選挙は、これまで  
ない多くの候補者があり、また  
反面たくさん落選したようです。  
私は、まだ13歳ですので、選挙  
権がありませんが、この選挙で気  
づいたことを述べてみたいと思  
います。

選挙権は、20歳以上の男女が持  
つていますが、この人達すべてが  
選挙できるわけではないでしょう  
なせなら、お年よりで、字の読み  
書きのできない方もあります。そ  
のために、持っている専ら一票を  
だめにしてしまうのです。

現に、私の祖母は、読み書きが  
少ししかできません。この様な者  
は、玉造町内にもたくさんいると  
思います。

「この紙の裏に、〇〇さんの氏名  
を大きく書いてくれ」  
というのです。私は、そのとお  
り、紙面に大きく「〇〇」と書き  
ました。すると、祖母は、その字  
の上を、えんぴつで、ていねいに  
なでていくのです。私は、こんな  
にしてまで、自分の持っている専  
ら一票を、候補者のために使おう  
としている祖母に、心を大きく動  
かされました。

字が書けない……これでは、選挙  
権を持てない……不自由なもの  
です。だからと言って、今から学  
校に行くわけにもいかないでしょ  
う。勉強をする、読み書きをする  
ことが、こんなにも大事だとい  
うことを、いまさらのように教えら  
れました。

### いほればなし

役場というところも、長く勤め  
てみると、うれしいこと、悲しい  
こと、シャクにさわる……とい  
ういろいろあるものです。その中か  
ら「いほればなし」毎月ひらいてみ  
ます。

#### 東京の三善地

港町十二善地という歌を、ヒバ  
リちゃんが歌っていた頃の話、  
移動転写を取りに来た中井のお  
くさん、「行先はナチスですか」  
「東京の三善地」「ソレではわか  
りませんね」「わからなければい  
いんです。わかつたら又つかまる  
から」大変にお気の毒な話ですが  
関係者はもう在町しません。そし  
てまた、係員が転出証明を交付  
したかどうか。もう記憶にありま  
せん。

商工会欄

指導員訓練

を実施

昨年12月9日から13日までの5日間、青年研修所で、職業訓練指導員訓練を実施しました。

職業訓練生募集

12月25日から1月5日までの11日間、歳末年始大売り出しを実施し、抽せんによって、国際劇場へ百名様を御招待することになりました。

昭和39年2月1日から、3月5日まで  
4 施設の名稱  
茨城県立職業訓練所  
土浦市殿里字街道向  
×くわしいことは、土浦職業訓練所へ、問合せください。(郵便問合は、返信用切手同封のこと)

1 募集人員  
ラジオテレビ修理工 40名  
洋裁工 40名  
機械工 30名  
電工 40名  
電子機器組立工 30名  
自動車整備工 30名

年頭にあたり

これは、技術の向上と、指導員訓練のため、木工、プロック建築工、洋服工等を対象にし、県職業訓練所から小室、吉川両講師を招へいして行われたもので49名の受講者は、一人の欠席もなく、全員その課程を終了し、指導員免許証を授与されました。

歳末年始大売りし

3 応募受付  
2 応募資格  
義務教育修了者

卒業期に多い こどもの事故をなくそう

二学期になりました。卒業も間近で、それぞれ、進学や就職のきまつた時期です。

心配されるのは、このころもまだ、ちょっとした刺激がもとで、不良仲間にはいたり、暴行事件をおこしたり、家出したりする事故がふえることです。

この時期、その心を動揺さる原因となっているようです。

件、或は、女友たちをめぐる暴行事件などがおこり、教育関係者や父兄に大きなショックを与えたことがあります。

事件がおきてから、どうのこうのといつても、なんの効果もありません。

そして、それぞれの立場から、こども達をあたたく、正しく指導し、一人の事故者を出さないよう、みなさんのご協力をお願いいたします。(土浦部長派出所)

みなさんの御協力に感謝すると共に、ますます御繁栄あらんことをお祈りして、年頭のごあいさついたします。

各位をはじめ、会員みなさんの絶えたい御協力により、会の運営ならびに事業活動も円滑に推進することができ、今日の隆盛を見ましたことは、まことに、御慶にたえない次第です。

各税の納期

| 期別 | 固定資産税 | 町民税   | 自動車税 | 健康保険税 |
|----|-------|-------|------|-------|
| 1  | 4.30  | 6.30  | 全期   | 5.31  |
| 2  | 7.31  | 9.30  | 5.31 | 8.31  |
| 3  | 10.30 | 11.30 |      | 11.30 |
| 4  | 12.20 | 1.31  |      | 2月末日  |

文芸



ともづな初句会

枯芝の影おく流れ細々と  
高家 ひで

早春の陽に溢るるや田井戸かな  
磯山 春

早けれど句座の興にと草を摘む  
塚本たつ子

手を引かれ句の友うれし初句会  
益子 稲里

梅仰ぐ今日の心にゆとりあり  
笹目 久子

糸切蘭あるしあわせと縫初め  
理崎千代子

寒入りの波をたてて出漁す  
飯田 吉子

注連張りし家並明治の面影を  
松本 霜石

一族の眠る大地に毎鳴ける  
八木 操苑

ほはかむり取ればいつもの渡舟守  
大和田海築

俚謡

注連を飾った白ナンバに  
坊を初荷の宮参り

母娘はればは唇を前に  
嫁く日数えて縫う春着

可愛い坊やのお手々めぐる  
雲と竜との初磨

嫁きよい嫁里への路は  
坊を初荷の耕うん機

町に就職した教え子の  
文字もなつかし年賀状

あとがき  
あけましておめでとうござい  
ます。

ついでにより、一月発行を休  
せていただき、月おくれのあいさ  
つとなりました。

県広報コンクール入選。  
みなさんのお力で、本紙も、ど  
うやらおとなの仲間入りができま  
した。

今後共、より一層のご協力をいた  
だき、おとなにふさわしいク広報  
のあゆみを続けたいと願ってお  
ります。

(X)(X)

南無の砂とて寺の梅  
永野 一碩

たつぷりと墨すりあげて初磨古  
川島 草人

桃浦 夜蝶

発行所

玉造町役場

発行人

町長坂本

編集

広報委員会(定価一部10円)

印刷所

新いばらき印刷局